

副町長就任

3期12年にわたり、町政に貢献した庄田義則前副町長に代わり、7月1日から新たに山森博司副町長が就任しました。



やまもり ひろし 山森 博司 副町長

【経 歴】

平成7年4月石川県庁に奉職
商工労働部産業政策課長補佐、
総務部デジタル推進監室課長補佐、
文化観光スポーツ部文化振興課参事などを歴任
中能登町出身 昭和49年生まれ、50歳

このたび、志賀町副町長を拝命しました山森博司と申します。これまで県庁で培った経験を活かし、町民の皆さまの暮らしがより良いものとなるよう、微力ながら全力で努めていきます。

令和6年能登半島地震により、大勢の人々が被災され、今もなお復興の途上にあります。そうした中で、町民の皆さまが互いに助け合いながら、生活再建を目指し、前向きに取り組んでいる姿に、心から敬意を表します。また、地域の行事やコミュニティ活動を大切に守り続けていることに、深い感銘を受けています。

皆さまの温かな支え合いと前向きな力が、志賀町の大きな原動力です。復興は決して容易な道のりではありませんが、町長や職員と力を合わせ、国や県とも連携しながら、皆さまが安心して暮らせる日常を一日も早く取り戻せるよう、現場の声にしっかりと耳を傾け、丁寧に取り組んでいきます。

まだまだ学ぶことも多い私ですが、町民の皆さまと共に歩み、皆さまの声に寄り添いながら、志賀町の復興と未来の発展のために尽力していきます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

7/4 (金)

馳浩県知事 志賀町を視察

7月4日(金)、馳浩県知事が志賀町を訪れ、稲岡町長らと町内を視察しました。

視察に先立ち、富来活性化センターで、稲岡町長らと意見交換しました。「創造的復興」に向けた基本方針や複合型の避難拠点施設と防災公園の整備、道の駅とぎ海街道周辺の再整備などについて説明しました。

震災後、土砂崩れで10カ月通行止めだった県道51号輪島富来線を視察し、今後の復旧の進め方を稗造地区の住民を交えて意見交換しました。



稗造地区の住民に宅地・農地の被災・復興状況を聞く馳知事

また、本復旧工事中の富来病院では、医療現場の現状と今後の計画について、病院関係者と意見交換しました。
能登中核工業団地コミュニティ施設では、能登中核工業団地協議会と意見交換し、県や町への要望も聞き取りました。



富来病院の竹村健一病院長らと意見交換



能登中核工業団地協議会との意見交換で、濱本和彦会長は、道路の修繕や路面凍結事故対策、備蓄倉庫の設置、復興応援の人材支援などを県や町に要望した

令和 6 年度

ふるさと納税 実績報告



令和 6 年度も「ふるさと志賀町」への応援として、全国の皆さまから多くの寄付がありました。また、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に係る復旧・復興支援としても、たくさんの心温まる寄付や励ましの言葉をいただきました。

今後も、皆さまから寄せられた思いを大切に、「魅力と笑顔にあふれ、未来に躍進するまち」の実現や町の復旧・復興に向けたまちづくりを推進していきます。

■ ふるさと納税 寄付実績

	令和 5 年度	令和 6 年度	増減
寄付件数 (件) (うち、災害支援)	18,316 (13,776)	9,595 (4,396)	▲ 8,721
寄付金額 (円) (うち、災害支援)	232,321,650 (86,284,650)	233,146,365 (23,489,365)	+824,715

応援メッセージ！

- ・災害に負けず頑張ってください！
 - ・少しでもお力になれば幸いです。
 - ・皆さんが平穏に暮らせますように。
- など

(内訳) 使い道別寄付額

寄付の使い道	寄付金額
町におまかせ(町政全般)	100,063,000円
地方における安定した雇用を創出	41,516,000円
安心して住み続けられる基盤	29,729,000円
結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業	24,643,000円
令和 6 年能登半島地震支援寄附金	23,489,365円

寄付の使い道	寄付金額
地方への人の流れをつくる	4,942,000円
地域への誇り・愛着を育てる事業	4,603,000円
誰もが活躍できる環境をつくる	3,311,000円
新型コロナウイルス感染症対策支援	650,000円
県内初の全天候型コンクリートスケートパーク整備事業	200,000円

■ 企業版ふるさと納税 寄付実績：199,224,334 円 (公表不可の企業分を含む)

株式会社ジャパングolfマネジメント(東京都港区)
三和建興株式会社(富山県富山市)
株式会社 K S オフィス(富山県富山市)
株式会社ブロックバリュー(東京都港区)
株式会社端野メディカル(福井県福井市)
合同会社ダイバーズ・システム(石川県金沢市)
株式会社大成和(富山県氷見市)
北陸電子株式会社(石川県金沢市)
株式会社野田電機(福井県福井市)
大橋紙器印刷株式会社(栃木県小山市)
アイバ産業株式会社(埼玉県さいたま市)
株式会社アンセム(東京都渋谷区)
近畿螺旋工業株式会社(大阪府大阪市)
株式会社プロミネンスインターナショナル
株式会社NIVA(石川県金沢市)
株式会社アーチ
株式会社Yours(東京都渋谷区)
重光商事株式会社
有限会社アキラックス

柴田商事株式会社(福井県福井市)
大央アイス株式会社(大阪府大阪市)
エシカルパートナーズ株式会社(東京都港区)
ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社
株式会社SAI建築社
株式会社金沢柿田商店(石川県金沢市)
株式会社カジテック(大阪府大阪市)
みのり建設株式会社
ベラテック販売株式会社(東京都渋谷区)
株式会社大商
株式会社コンステック(大阪府大阪市)
タクミ商事株式会社(東京都新宿区)
信金中央金庫(東京都中央区)
株式会社丸伸インダストリー(石川県金沢市)
さくらホームグループ株式会社マスターズ(石川県金沢市)
京浜警備保障株式会社
有限会社アサラ(石川県金沢市)
株式会社サンデーフォークプロモーション

※公表可の企業のみ記載(住所非公表の企業は企業名のみ記載)

震災からの復旧・復興に向けて、全国の企業からもたくさんの
寄付をいただきました。ご支援ありがとうございます！

消防団連合会 連合訓練大会

6月21日(土)、羽咋郡市消防団連合会連合訓練大会が西山台の防災公園で開催され、羽咋郡市の消防団25分団643人が集結。放水までの迅速・確実性を競うポンプ車操法や小隊訓練などの得点を競いました。

この大会は、羽咋郡市消防団員の親睦を図り、日頃の訓練の成果を公開し、団員の志気高揚のため実施しています。7月26日(土)開催の県大会の予選も兼ね、ポンプ車操法の部で西増穂分団が優勝、土田分団が準優勝し、県大会の出場権を獲得しました。総合の部では、土田分団が優勝、富來分団が準優勝しました。

この大会に合わせて消防定例表彰があり、功労のあつた消防団員や分団に表彰状を授与しました。

【総合順位】

優勝	土田分団	優勝	西増穂分団
準優勝	富來分団	準優勝	土田分団
3位	西増穂分団	3位	富來分団

【優秀選手賞】

指揮者	木曾 直樹 (羽咋市消防団第6分団)
1番員	西山 徹 (羽咋市消防団第5分団)
2番員	坂上 大輔 (東増穂分団)
3番員	柳野 宏樹 (羽咋市消防団第5分団)
4番員	村田 勇矢 (高浜分団)

【ポンプ車操法の部】

優勝	西増穂分団	優勝	土田分団
準優勝	土田分団	準優勝	富來分団
3位	富來分団	3位	西増穂分団

令和7年度

消防定例表彰

石川県知事表彰

銀盃を授与する表彰

中甘田分団	副分団長	岩田 義親
土田分団	部長	大畠 洋一
加茂分団	部長	成瀬 孝之
中甘田分団	部長	越後 崇生
富來分団	班長	岡 真輝
志加浦分団	分団長	菓子田敏幸
福浦分団	部長	西 哲也
福浦分団	副分団長	端谷 満
東増穂分団	分団長	杉下 清吉
大家 弘美	分団長	大家 和貴
(西浦分団)	分団長	大家 和貴
蟹屋敷重紀子	分団長	大家 和貴
(富來分団)	分団長	大家 和貴

非常勤消防団員の配偶者等に対する感謝状

大家 弘美	分団長	大家 和貴
(西浦分団)	分団長	大家 和貴
蟹屋敷重紀子	分団長	大家 和貴
(富來分団)	分団長	大家 和貴

公益財団法人 石川県消防協会定例表彰

優良消防団(分団)表彰

中甘田分団

功労章表彰

団本部	副団長	小林 学
西浦分団	分団長	大家 和貴
西海分団	分団長	佃 政之

功績章表彰

団本部	副団長	飯田 一也
堀松分団	分団長	國部 光輝
富來分団	分団長	山添 忠司
東増穂分団	分団長	杉下 清吉

勤続功労章表彰

志加浦分団	団員	千才 雅志
土田分団	団員	山守 雄太
堀松分団	団員	田端 亮哉
中甘田分団	班長	向田 達哉
福浦分団	班長	開 勇人
堀松分団	団員	嘉治 真人
富來分団	団員	小堀 一馬
下甘田分団	団員	岡田 貫

羽咋郡市消防団連合会 定例表彰

優良消防団(分団)表彰

上熊野分団 西海分団

永年勤続功労章表彰

志加浦分団	団員	千才 雅志
土田分団	団員	山守 雄太
堀松分団	団員	田端 亮哉
中甘田分団	班長	向田 達哉
福浦分団	班長	開 勇人
堀松分団	団員	嘉治 真人
富來分団	団員	小堀 一馬
下甘田分団	団員	岡田 貫

優良団員表彰

熊野分団	団員	三橋 球道
富來分団	副分団長	的場 隆明
上熊野分団	団員	谷内 浩紀
西増穂分団	部長	安田 一平
下甘田分団	団員	堀 嘉一
下甘田分団	団員	山瑞 康裕
東増穂分団	団員	山田 一樹
加茂分団	団員	岡島 大輔
西増穂分団	団員	三辻 真吾
西増穂分団	団員	辻 剛生
堀松分団	団員	千歳 祥人
上熊野分団	団員	田淵 項介



志賀高校 国際交流部だより

志賀高校の国際交流部は、1年生3人、2年生5人、3年生3人の計11人で活動しています。主にアゼルバイジャン共和国のパーク世界学校の生徒と交流する活動をしています。日々の活動では月に1回のオンライン交流に向けた準備を行い、これまでに、オンライン交流を3回実施しました。交流内容は①日本のアニメ文化、②食文化、③伝統行事です。日本とアゼルバイジャン共和国では、食べているものや生活の仕方にたくさんの違いがあることを知りました。また、距離が遠く離れているにもかかわらず、似ている部分も多く、日本のアニメについて、共通の話題として語り合えることに楽しみを感じています。

オンライン交流では、日本語と英語を組み合わせ、コミュニケーションをとっています。英語で話し内容が伝わると、とてもうれしくなります。これからも、交流を通して、アゼルバイジャン共和国のことについて、もっと知りたいと思っています。



志賀町文化協会主催

初夏の文化祭を開催

6月14日(土)、15日(日)の2日間、志賀町文化ホールで町文化協会主催による初夏の文化祭が開催されました。

14日からは文化協会展示部会による各種の展示が行われ、15日は各種展示のほか、式典、芸能アトラクションが行われました。式典では文化協会の表彰式が行われ、4人の方が功労賞を受賞されました。

式典後は文化協会芸能部会による芸能アトラクションで、大正琴や太鼓などが披露され、日頃の練習の成果に観客から温かい拍手が送られました。

また今年は、特別出演として音楽工房 琶韻による琵琶・二胡・箏の演奏が行われました。観客は、弦楽器が奏でる美しい音色に聞き入りながら、日本と中国の両文化を感じられる味わい深いひと時を過ごしました。

【志賀町文化協会功労賞表彰者】

遠藤美朝子（貝がら川柳社） 佐野富美子（大正琴愛好会）
西田 博子（志賀町華道協会） 桜井 節子（コール志賀）



文芸教室

「門」土筆の会

切れ間なくとりどりの花聖五月 安田紀美恵

青田の株ふむな踏むなよ鷺三羽 前川美代子

我農家米の不足でパン作り 屋敷 香陽

駐車場も蛙の声で眠りつく 藤川 増野

見渡せば山河へ靡く青田波 高岩 満

投稿 短歌、俳句

検査帰途孫の運転初夏の風 山守 宏子

畑上がり火照る体の麦茶かな 土田エミ子

山行こうタケノコさがし5本あり 堀 禮子

はつもの食^たべてしあわせきぶん 堀 禮子

10キロの梅千用の軸を取り 智子

年に一度のつとめを終えり 智子

雑草の如く生きたし炎天を 光 雄

物ともせず耐える力を 光 雄

恩師逝く九十九才水無月に 松本理希三

教え子もまた七十九才 松本理希三

夏空を白く彩る爽竹桃 志津江

平和の願い花に委ねて 志津江

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。短歌、俳句、川柳については一首二句として、毎月25日までに送付してください。（連絡先必須、紙面の都合上、掲載できない場合もありますのでご了承ください。）

■宛先／〒925-0198 志賀町末吉千古1-1
志賀町教育委員会生涯学習課まで